

長年の功績に深く敬意を表します

# 平成23年度大館市功労者

大館市功労者表彰は、市勢の発展、社会福祉増進、産業の振興、保健衛生の向上など、広く市民の模範となる功労があった個人や団体に対して行われます。毎年、市の記念日である4月1日に表彰式が行われ、今年度は次の方々が表彰されました。



あぶかわ りょういつ  
蛇川良逸氏

(山田渡・75歳)

昭和57年から28年間、大館市農政推進員を務められ、農政の円滑な推進と遂行に多大な貢献をされました。

また、あきた北農業協同組合支部長、下川沿土地改良区副理事長を務められたほか、大館市農業委員会委員、北鹿農業共済組合理事を歴任し、現在も同共済組合の監事を務めるなど、豊富な経験から他の農家の指導者的な役割を担うとともに、その実績は地域を超えて高く評価されています。

さらに、昭和50年から平成19年までの16期32年間、大館市行政協力員として地域と行政の連絡・調整に力を注ぎ、市政の円滑な運営に貢献されました。



おばた ちよかざ  
小畑千代一氏

(四羽出・80歳)

平成6年から平成22年までの4期16年間、大館市二井田財産区議員として活躍され、地区の財産の適正な管理運営に努められました。

この間、平成14年には同財産区議長に就任し、平成18年までの4年間、議会の円滑な運営に尽力されたほか、大館第二工業団地造成事業の推進にも貢献するなど、市の発展と雇用確保に寄与されました。

また、平成3年から13年間、民生委員・児童委員を務められ、市の社会福祉の向上に貢献されたほか、二井田地区町内会長連絡協議会会長などを歴任し、地域の福祉増進に寄与されました。



ささき ていじ  
佐々木悌治氏

(御成町4丁目・79歳)

昭和36年から50年の長きにわたり、職人として曲げ物製造に従事。最高度の技術を習得したほか、素材となる天然秋田杉の性質を熟知し、さまざまな用途の曲げわっぱの開発と製品化に尽力されました。平成17年には、技術と功績が認められ「現代の名工」として厚生労働大臣表彰を、平成19年には黄綬褒章を受章されました。

また、大館曲げわっぱのすばらしさを市民や観光客、児童生徒に伝えるため、ボランティアで体験教室の講師を務めるほか、体験工房の指導者養成を一手に担うなど、伝統産業の振興と普及・啓発に多大な貢献をされました。



わたなべ ひさのり  
渡邊久憲氏

(五日市・82歳)

昭和47年から通算8期31年間、比内町議会議員、大館市議会議員を務められ、地方自治の進展に寄与されました。この間、昭和53年から産業経済委員長、議会運営委員長を歴任し、平成4年から4年間、平成12年から5年間は比内町議会議長を、合併後は大館市議会副議長に選任され、議会の円滑な運営に尽力されました。

また、平成元年まで43年間、比内町消防団員として長年地域の防災に努め、比内町消防団第3分団長としても後進の育成指導に貢献されました。こうした功績により平成20年には旭日雙光章を受章されました。